

当院で行っている手術

【内視鏡治療】

内視鏡的食道粘膜切除術(EMR)・粘膜下層剥離術(ESD)
内視鏡的食道及び胃内異物摘出術
内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術(EVL)
食道狭窄拡張術(拡張用バルーンによるもの)
食道・胃静脈硬化療法(内視鏡によるもの)(EIS)
食道ステント留置術
内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術
内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術(EMR)
内視鏡的胃早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術(ESD)
内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術
胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術)
内視鏡的胆道結石除去術
内視鏡的胆道ステント留置術
内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術(ENBD)
内視鏡的逆行性胆管ドレナージ術(ERBD)
内視鏡的乳頭切開術(EST)
内視鏡的消化管止血術・小腸結腸内視鏡的止血術
小腸・結腸狭窄部拡張術(内視鏡によるもの)
内視鏡的結腸異物摘出術
内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術(EMR)
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術(ESD)
下部消化管ステント留置術
内視鏡的痔核結紮手術
経尿道的尿路結石・膀胱結石除去術
経尿道的尿管ステント留置術・抜去術
膀胱水圧拡張術
膀胱悪性腫瘍手術(TUR-Bt)
内視鏡(子宮鏡)を用いた子宮頸管ポリープ切除術
気管支異物除去術
気管・気管支ステント留置術

【胸腔鏡・腹腔鏡手術】

胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術・良性胸壁腫瘍手術
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術
(部分切除、区域切除、肺葉切除又は1肺葉を超えるもの)
胸腔鏡下肺切除術
(肺嚢胞手術(楔状部分切除によるもの)・その他のもの)
胸腔鏡下肺縫縮術
胸腔鏡下試験開胸術、試験切除術
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術
腹腔鏡下腹壁瘢痕ヘルニア手術
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術、大腿ヘルニア手術
腹腔鏡下試験開腹術、試験切除術
腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術
腹腔鏡下後腹膜腫瘍摘出術
腹腔鏡下胃切除術
腹腔鏡下噴門側胃切除術
腹腔鏡下胃全摘術
腹腔鏡下胃・十二指腸潰瘍穿孔縫合術
腹腔鏡下胃局所切除術
腹腔鏡下胃腸吻合術
腹腔鏡下噴門形成術
腹腔鏡下胆嚢摘出術
腹腔鏡下胆管切開結石摘出術
腹腔鏡下肝切除術
腹腔鏡下補助下臍体尾部切除術
腹腔鏡下脾臓摘出術
腹腔鏡下小腸切除術
腹腔鏡下結腸切除術
腹腔鏡下虫垂切除術
腹腔鏡下腸管癒着剥離術
腹腔鏡下腸閉鎖症手術
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術
腹腔鏡下直腸切除術
腹腔鏡下人工肛門造設術
腹腔鏡下副腎摘出術
腹腔鏡下副腎悪性腫瘍手術
腹腔鏡下腎(尿管)悪性腫瘍手術

腹腔鏡下子宮全摘術
腹腔鏡下子宮筋腫核出術
腹腔鏡下子宮附屬器腫瘍摘出術

【その他の臓器別手術】

《皮膚・皮下組織・筋骨格系・四肢・体幹》
創傷処理、小児創傷処理
皮膚切開術
デブリードマン
皮膚、皮下腫瘍摘出術
皮膚悪性腫瘍切除術
筋肉内異物摘出術
四肢・軀幹軟部悪性腫瘍手術(大腿部)
四肢切断術
経皮的椎体形成術
《咽頭・喉頭》
咽頭悪性腫瘍手術
喉頭・声帯ポリープ切除術
《頸部》
頸部悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(RFA)
《甲状腺》
甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術
甲状腺悪性腫瘍手術
《乳腺》
乳腺腫瘍摘出術
乳房切除術
乳腺悪性腫瘍手術
乳房悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(RFA)
《気管支、肺》
胸壁悪性腫瘍摘出術、胸壁腫瘍摘出術
試験開胸術
縦隔腫瘍・胸腺摘出術、縦隔悪性腫瘍手術
肺切除術
肺悪性腫瘍手術
肺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(RFA)
《動脈・静脈・リンパ節》
悪性腫瘍動脈、静脈又は
腹腔内持続注入用植込型カテーテル設置
腎血管性高血圧症手術(経皮的腎血管拡張術)
血管塞栓術(頭部、胸腔、腹腔内血管等)
四肢の血管拡張術・血栓除去術
下肢静脈瘤手術
中心静脈注射用植込型カテーテル設置
静脈血栓摘出術
下大静脈フィルター留置術
リンパ節摘出術
《腹壁・ヘルニア》
腹壁腫瘍摘出術
ヘルニア手術
(腹壁瘢痕、鼠径、大腿、閉鎖孔、内)
《腹膜・後腹膜・腸間膜・網膜》
試験開腹術、試験切除術
限局性腹腔腫瘍手術
経皮的腹腔腫瘍ドレナージ術
急性汎発性腹膜炎手術
大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術
後腹膜悪性腫瘍手術
《食道・胃・十二指腸》
食道狭窄拡張術
食道ステント留置術
食道悪性腫瘍手術
(消化管再建手術を併施するもの)
胃局所切除術
幽門側胃切除術
噴門側胃切除術
胃全摘術
胃腸吻合術(ブラウン吻合を含む。)
経皮経食道胃管挿入術

《胆嚢・胆道》

胆管切開結石摘出術(チューブ挿入を含む。)
胆嚢摘出術
胆管形成手術(胆管切除術を含む。)
胆嚢悪性腫瘍手術、胆管悪性腫瘍手術
胆嚢外瘻造設術、経皮経肝胆嚢ドレナージ
胆管外瘻造設術、経皮的胆管ドレナージ術
経皮経肝胆管ステント挿入術
《肝》
経皮的肝膿瘍ドレナージ術
肝切除術(部分切除、区域切除、葉切除)
肝内胆管外瘻造設術
(開腹によるもの、経皮経肝によるもの)
肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(RFA)
《脾・脾》
急性脾炎手術(感染性壊死部切除を伴うもの)
脾体尾部腫瘍切除術
脾頭部腫瘍切除術
脾摘出術
《小腸・虫垂・結腸・直腸・肛門》
腸管癒着症手術
腸重積症整復術(非観血的なもの)
小腸切除術、虫垂切除術、結腸切除術
人工肛門造設術、人工肛門閉鎖術
腸閉鎖症手術
直腸切除・切断術
痔核手術(結紮術)、痔核根治術
肛門周囲膿瘍切開術、肛門ポリープ切除術
《副腎・腎臓・尿路》
副腎腫瘍摘出術
副腎悪性腫瘍手術
経皮的腎嚢胞穿刺術
腎(尿管)悪性腫瘍手術
経皮的腎(腎盂)瘻造設
腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法(RFA)
経尿道的尿管狭窄拡張術
回腸(結腸)導管造設術
尿道悪性腫瘍摘出術
《子宮・附屬器》
子宮頸部円錐切除術
子宮全摘術
子宮悪性腫瘍摘出術
子宮附屬器腫瘍摘出術

《眼科手術》

水晶体再建術(白内障手術)
網膜硝子体手術
(網膜剥離、黄斑前膜、糖尿病網膜症など)
眼内レンズの強膜内固定術
眼瞼内反症手術
眼瞼挙筋短縮術
翼状片手術
結膜腫瘍摘出術
結膜嚢形成手術(結膜弛緩症など)
後発白内障手術(YAGレーザー)
EDTAによる角膜混濁除去

榎殿順記念病院 広報誌 2017年度 夏号

じゅん

発行所
医療法人社団 公仁会
榎殿順記念病院
〒733-0013
広島市西区横川新町8-21
TEL 082-296-0110

医学コラム 大腸がんについて

👉 大腸がんについて

～ 欧米化した食生活に伴い、大腸がんは増加しています。～

2014年のがん統計によると、がんの部位別の死亡者数で大腸がんは男性第3位、女性第1位です。

男女ともに50歳代以降の方に多くみられます。欧米化した食生活に伴い大腸がんは増加傾向にあり、今後ともさらに増加すると予想されています。幸い、大腸がんは早期に発見し、適切な治療を行うことでほとんど完治するがんです。定期的な大腸内視鏡検査で見つかる早期がんは ” お腹を切らない治療 ” が可能です。

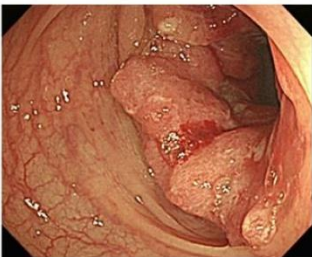
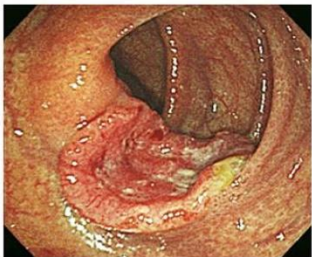
50歳以降の方は早期発見の為、年に1回の精度の高い検査(大腸内視鏡検査)を受けましょう。

👉 大腸がんの症状とは

大腸がんは結腸がんと直腸がんの総称ですが、大腸は1.5―2mの腸管で、小腸に続いて、盲腸、上行結腸、横行結腸、下行結腸、S状結腸、直腸、肛門管からなります。また大腸の壁は便が通る内側から粘膜、粘膜下層、筋層、漿膜からなります。大腸がんはほとんどがポリープ（腺腫）を経由して発生すると考えられますが、粘膜より発生し、がんの浸潤が粘膜、粘膜下層にとどまるものを早期がん、筋層より深いものを進行がんといいます。

一般的に早期がんは特徴的な症状がなく、進行がんになると肛門に近いほど症状が出現しやすい。

がんからの出血による下血（便潜血陽性、排便時出血、粘血便）、貧血症状（動悸や息切れ、倦怠感）や、内腔が狭くなることにより便が細くなる、残便感がある、腹痛や腹部膨満感、さらに進行すると腸閉塞症状として全く便が出なくなる、吐き気がするなどの症状を認めます。



下記症状がある方は内視鏡検査をおすすめします

- 1、最近、痛みもないのに便に潜血または黒色の血液が混じる、または血が付く方
- 2、最近、急に下痢や便秘になったり、下腹部の痛み、腹部膨満感が続く方
- 3、便が細くなった方
- 4、残便感がある方
- 5、お腹に痛みを伴うしこりがある方
- 6、健康診断や人間ドックで便潜血が陽性であった方
- 7、両親、兄弟など身近な血縁者に大腸がん・ポリープが発生した方



当院は救急告示病院、二次救急病院です。
がん救急、腹部外科救急を中心に内科系・外科系疾患を365日24時間体制で救急対応しております。
急な病気やケガで診療が必要な患者さまは、下記の電話番号までお問い合わせください。

【緊急連絡先】 平日・夜間・休日 **082-296-0110** つながらない時は、**090-1356-9919**



詳しくは、当院のホームページでご覧いただけます。



<http://www.makidono-ism.or.jp/>

榎殿順記念病院



検索